

一月二五日、連合岩手気仙地域協議会第四回(二八)年次大会を気仙教育会館で開催した。大会議長団にJEC連合千葉賢一代議員、自治労佐々木喜之代議員を選出した後、執行部を代表して梅澤議長が挨拶で「推薦議員と連携をとりながら、構成単組との横のつながりをより強固にし、働くことを軸とした安心社会の実現に全力で取り組んでいこう」と訴えた。



すべての働く者を

## 連合の仲間の輪へ

# ストップ・ザ・格差社会!

いまこそ働く者が連帯し「安心社会」を切り拓こう!

連合岩手からは、大槻副事務局長が出席し、「連合が発足して二七年が経過、社会の不条理に立ち向かい、すべての働く仲間が連帯できる組織となる必要がある」等の挨拶をうけた。

続いて、「ご出席いただいた来賓の皆さまを紹介し、労働福祉団体を代表し菊地気仙地区労働者福祉協議会会長、黄川田衆議院議員秘書菅野氏、熊谷大船渡市議会議員、東大船渡市議、菅野住田町議からご祝辞をいただいた。

星事務局長から活動報告・二〇一七年度方針の提案をうけて、JEC連合菅野代議員から予算に対する補強する発言があり、すべての報告・議案が承認された。

「大会アピール」の提案では、東日本大震災津波から五年八カ月が経過、連合岩手、構成組織・単組が連携して被災者に寄り添ったきめ細かな対応を続ける。安倍政権に對峙し、誰もが希望をもって働き、お互いに支えあえる持続可能な社会に向け実効性ある改革を求める。解散総選挙がささやかれている中、巨大与党の暴走を止めるため総力をあげて闘おう。等を確認した。

また、任期中で退任する齊藤事務局長、千田事務局長の在任期間を担う太田・石橋事務局長を確認し、梅澤議長による団結カンパニーで大会を閉じた。



連合気仙青年委員会は、役員体制のもとで活動をしつつも東日本大震災後には総会の開催を見送っていたが、一月一日、シール大船渡で第一回総会を開催した。

崎山委員長は、「青年委員会独自の活動を実施できずに至っている状況を打開するため、総会は活動を前進させる大事な機会となつていく。青年の豊かな感性と行動力を生かした活動に取り組み」等の挨拶をした。

「来賓には、新屋東北労金大船渡支店長に出席いただきご祝辞をいただいた。

総会には、七構成組織が出席し、議長団にU-Aゼンセン

### 青年委員会 第二回年次総会

## 縦横のつながりを強化する

## こんなとき

### 労災ハコブテ 応援団

Q: 作中に怪我をしたのに「労災は認められない」と上司に言われた。自分で治療費出さしかないの?



Q: 通勤中に怪我したけど、これも労災が適用されますか?



Q: 作中の怪我で入院。働けずに収入がなくなり困っています。何か補償を受けますか?



## あなたは、どう思いますか

## 「2017政策・制度要求と提言」

### 住田町・大船渡市に提出

11月21日、住田町には菅野町議、梅澤議長、佐々木副議長、星事務局長が出席し、11分野20項目の要求・提言を初めて提出した。2年ぶりとなる大船渡市には、熊谷・東市議、議長・事務局長が出席し、13分野25項目を提出した。

「東日本大震災からの復興・再生」「経済政策」「福祉・社会保障政策」等の回答内容を幹事会で議論し、要求の実現に向けて取り組みを進める。



## 特定(産業別)最低賃金改正

労働力の質的向上と事業の公正な競争の確保を目的とする取り組みである。ほとんどの未組織労働者は、賃金改善に関することができないため、最低賃金の引き上げは組織労働者の使命であり役割である。

連合岩手は、労働側委員と連携し、特定最低賃金の適切な水準改正に向け、当該構成組織と連携を深めながら取り組み、地域別最低賃金より優位性を確保した。地域発効日の二月一日から金額改正される。

項目	前年度時間額	2016年度改定額		地賃対比
		時間額	引上げ率	
鉄鋼・金属	772	790	2.33%	110.34%
電気機械	740	756	2.16%	105.59%
光学機械	758	774	2.11%	108.10%
各種販売小売	752	767	1.99%	107.12%
自動車小売	781	800	2.43%	117.73%

震災により仮設住宅に暮らしていましたが、今年の春、末崎町岸地区に高台移転しました。稼業は漁業で、牡蠣やワカメを養殖しています。

新居は見晴らしが良く海の様子が見えるので、波の状況などが分かり漁家にはとても便利なところですよ。

震災では船や養殖資材の一切を流され、一時は漁業を続けていけない、辞めてしまおうかと迷ったこともありましたが、たくさんの方の支援を受け、復旧することができました。大船渡の美味しい海の恵みを生産できることを嬉しく思っています。

最近、友達の花風通(カフツ)さんに庭を作ってもらい、緑のある素敵な庭に生まれ変わりました。春には緑が芽吹き、花が咲くのが楽しみです。

連合気仙での仕事は、漁業とは全然違う分野ですが、いろんな業種の方と知り合うことができ、様々な活動を通して、貴重な経験の機会になっています。

今後は仕事やプライベートに活かすべくワークショップについて学びたいなあと思っています。

幸・K

